



環境の森センター・きづがわ建設に向けて

～ “環境の森センター・きづがわ”は、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

打越台環境センターに代わるごみ焼却施設“環境の森センター・きづがわ”は、木津川市にとって、一日も早く解決しなければならない、たいへん重要かつ緊急の懸案事項です。

※7月号の広報でお伝えしたとおり、市民の皆さんから応募いただいた名称案の中から、打越台環境センターに代わる新たなクリーンセンターの名称に「環境の森センター・きづがわ」を選定しました。

これまで「クリーンセンター」によりお伝えしてきましたが、今後は、「環境の森センター・きづがわ」と表記しますので、よろしくお願いします。建設地周辺の環境を大切にし、市民の皆さんから信頼される安心・安全な都市施設をめざして整備を進めます。

鹿背山川向地内で建設を進めているごみ焼却施設“環境の森センター・きづがわ”の施設規模等は、以前にもお伝えしましたが、右のとおりです。

現在、施設の実施設計を進めています。実施設計が終わりましたら、施設の概要を改めてお伝えします。

これまで開催した先進施設の視察などにおいて、市民の皆さんから、木津川市ではどのような施設を建設するのかなど、質問・疑問を頂きました。今月号から数回にわたり、“環境の森センター・きづがわ”に関連して、現時点でお答えできる質問・疑問を掲載します。今月号では、焼却方式などについて、お答えします。

施設規模等

・焼却能力	94 t / 日(47 t / 日×2炉)
・焼却方式	全連続燃焼式ストーカ炉
・余熱利用	ごみ発電(1,190kw)、白煙防止

○全連続式ストーカ炉ってどんな方式ですか？

全連続式とは、24時間連続して焼却することができる焼却炉のことです。

24時間連続し焼却することで、高い温度で、安定した焼却が確保されますので、周辺環境への影響についても、より低減することができます。

ストーカ炉とは、焼却炉の方式です。焼却炉の方式には、ストーカ炉以外にもありますが、ストーカ炉は、階段状のストーカ(火格子)に投入したごみを乾燥、燃焼、後燃焼という3つの過程により、燃焼させる方式です。

全国で最も実績のある焼却方式で、“環境の森センター・きづがわ”の整備に際しては、燃焼の自動化による燃焼制御などの最新かつ信頼できる技術を取り入れて、安定した焼却処理を実現します。

○ごみを焼却する温度ってどのくらいですか？

ごみは、850℃以上の高温で焼却します。また、高温で焼却するため、ごみの臭いも熱で分解してしまいます。

焼却した際の排ガスについては、環境基準値より厳しい自主基準値を満足するよう、信頼性の高い排ガス処理システムにより有害物質を効率的に除去します。具体的な排ガス処理システムについては、実施設計後、改めて、お伝えします。

○ごみ発電で起こす1,190kwってどの程度の電力ですか？

“環境の森センター・きづがわ”は、ごみを焼却する際に発生する熱を利用して、発電を行います。この電気は、施設内で使用するほか、余剰分は売却する予定です。

発電量は、ごみの量や質などにもよりますが、一般家庭のおおよそ1,500世帯分に相当します。

“環境の森センター・きづがわ”の早期稼働に向けて、地元の皆さまをはじめ市民の皆さん、一人ひとりのご理解とご協力をよろしくお願いします。

クリーンセンター建設推進室（まち美化推進課内） ☎ 75-1226 Fax72-3900 E-mail : clean-center@city.kizugawa.lg.jp